

公益財団法人 サントリー芸術財団 音楽事業部

107-6022 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル22F Tel: 03-3582-1355 Fax: 03-3582-1350

No.12021 (2014.3.31)

**第13回（2013年度）佐治敬三賞は
「東京現音計画#01～イタリア特集Ⅰ：
コンポーザーズセレクション1・杉山洋一」および
「東方綺譚 “Nouvelles Orientales de Marguerite
Yourcenar”」に決定**

公益財団法人サントリー芸術財団（代表理事・堤剛、鳥井信吾）は、わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈る「佐治敬三賞」の第13回（2013年度）受賞公演を「東京現音計画#01～イタリア特集Ⅰ：コンポーザーズセレクション1・杉山洋一」および「^{とうほうきたん}東方綺譚 “Nouvelles Orientales de Marguerite Yourcenar”」の2公演に決定しました。

●選考経過

応募のあった2013年実施公演について2014年3月19日（水）東京・六本木のサントリー美術館において、選考委員7名により選考会を開催、慎重な審議の結果、第13回（2013年度）佐治敬三賞に「東京現音計画#01～イタリア特集Ⅰ：コンポーザーズセレクション1・杉山洋一」および「東方綺譚 “Nouvelles Orientales de Marguerite Yourcenar”」の2公演が選定され、3月26日（水）理事会において正式に決定された。

●賞金は200万円。今回は同時受賞につき各100万円が贈られる。

●選考委員は下記の7氏。

磯山 雅・伊藤 制子・伊東 信宏・岡部 真一郎・松平 あかね

水野 みか子・榎崎 洋子

（敬称略・50音順）

●「東京現音計画#01～イタリア特集Ⅰ」

コンポーザーズセレクション1・杉山洋一

<贈賞理由>

「東京現音計画」は、日本の現代音楽界の第一線で活躍する5人の音楽家、有馬純寿（エレクトロニクス）、大石将紀（サクソフォン）、神田佳子（打楽器）、黒田亜樹（ピアノ）、橋本晋哉（チューバ）が立ち上げた団体。今回の受賞公演は、その第1回演奏会にあたり、作曲家・杉山洋一をゲストに招き、彼の選曲で組み立てられていた。ドナトーニやマデルナの60～70年代の作品を交えながら、ジョルジョ・ネッティやアルド・クレメンティによる近作、さらには杉山自身の新作も加えたその選曲は、「イタリア特集」と銘打たれていた。この枠組みと上記の音楽家たちによる演奏を活かす、という条件を満たす選曲はかなり厳しかったと思われるが、それでもここには杉山洋一の歴史観と作曲観がよく現れており、清新で明快である。

またその演奏も非常に水準が高く、現代の日本における同時代作品の演奏について、一つの到達点を示した、と言って良い。

ピアノ内部奏法の処理はあれで良かったのか、あるいは各曲についてももう少し丁寧な解説があっても良いのではないか、といった点でいくつか意見も出たが、企画の点でも、演奏の点でも、バランスのとれた公演で、これほど輝きのある演奏会は稀有である、との評価もあり、総体としては審査員全員が佐治敬三賞に値すると判断した。同団体が、今後ますます充実した活動を展開されることを期待する。

<公演概要>

名 称：東京現音計画#01～イタリア特集Ⅰ

コンポーザーズセレクション1・杉山洋一

日 時：2013年9月13日（金）19：00

会 場：杉並公会堂小ホール

曲 目：杉山洋一／五重奏（アフリカからの最後のインタビュー）委嘱初演

ファンファーレ

ジョルジョ・ネッティ／最後に、かたわらで（翼の生えた）

アルド・クレメンティ／コラージュ2

ニコラ・サーニ／空間概念 期待

アルド・クレメンティ／いと高きところに

ブルーノ・マデルナ／ディアロディーア

ピエールルイージ・ビッローネ／マニ・モノ

フランコ・ドナトーニ／四重奏

プログラム監修・指揮：杉山洋一

出 演：東京現音計画

有馬純寿（エレクトロニクス）、大石将紀（サクソフォン）

神田佳子（打楽器）、黒田亜樹（ピアノ）、橋本晋哉（チューバ）

主 催：東京現音計画

制 作：有限会社ナヤ・コレクティブ

● 「^{とうほうきたん}東方綺譚 “Nouvelles Orientales de Marguerite Yourcenar”」

<贈賞理由>

「アンサンブル室町」は、和楽器とバロック楽器の混合編成により空間と時間を超えた芸術表現を追求する、独創的な理念に立脚したアンサンブルである。

10月26日、津田ホールで開催された「東方綺譚 “Nouvelles Orientales de Marguerite Yourcenar”」と題するコンサートは、マルグリット・ユルスナールの小説集『東方綺譚』をテーマに、日本とフランスの4人の作曲家が世界初演となる新作を寄せるという、意欲的かつ筋の通った企画のもとに行われた。

日本からは中堅の鈴木純明と若手の北爪裕道を、フランスからは高い実力をもつ作曲家ながら日本で十分に紹介されてきたとは言えないエディット・ルジェ、ブリューノ・デュコルを指名した着眼は卓抜で、作品もそれぞれ個性のある、粒ぞろいのものであった。とりわけルジェのヴァイオリン協奏曲《風景の秘密》は、招聘された韓国のヴァイオリニスト、ハエ＝スン・カンの際だった演奏を得て、洗練された様式により聴衆を魅了した。惜しまれるのは、デュコルの《ワンフォ、あるいは夢の色彩》において、日本語とフランス語のナレーションのかみ合わせに難があったことである。

プレトークを担当した岩切正一郎の適切かつ行き届いた情報提供により、コンサートの理念と創作の方向性がいっそう明確になったことも評価される。和楽器とバロック楽器の響きの親和性、両者のコラボレーションによる表現の可能性が立証されたことはひとつの発見で、現代音楽のコンサートとしても国際交流のイベントとしても、斬新にして実り多いコンサートであった。今後の展開への期待もこめて、佐治敬三賞を贈賞する。

<公演概要>

名 称：東方綺譚 “Nouvelles Orientales de Marguerite Yourcenar”

日 時：2013年10月26日（土）18：30（プレトーク：18：00）

会 場：津田ホール

曲 目：鈴木純明／「ネーレイデスに恋した男」アンサンブルのための
エディット・ルジェ／風景の秘密
北爪裕道／浮世の絵師
ブリュノ・デュコル／ワンフォ、あるいは夢の色彩
（全曲、委嘱初演）

出 演：ハエ＝スン・カン（ヴァイオリンソロ）
ディディエ・ダブロフスキ、萬浪大輔（俳優）
鷹羽弘晃（指揮）
アンサンブル室町（演奏）
岩切正一郎（プレトーク）、関根敏子（プレトーク司会）

舞台監督：浜田和孝
芸術監督：ローラン・テシュネ（アンサンブル室町代表）
主 催：アンサンブル室町
マネジメント：武智音楽事務所

以 上

(ご参考)

佐治敬三賞について

公益財団法人サントリー芸術財団（代表理事・堤剛、鳥井信吾）は、故・佐治敬三（サントリー元会長、サントリー音楽財団元理事長）の功績を記念して、2001年度（平成13年度）から「佐治敬三賞」を創設しました。

この「佐治敬三賞」は佐治の音楽への深い愛情と理解およびチャレンジ精神、パイオニア精神を承継し、新しい世紀のわが国における音楽公演活動の一層の振興を願って、氏の名を冠した新しい賞として制定されました。

この賞は、毎年わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈られるもので、応募のあったものの中から選定されます。賞金は200万円です。

故・佐治敬三は、早くから文化事業への支援に力を入れ、特に音楽界においては鳥井音楽財団（現サントリー芸術財団）を設立、サントリー音楽賞をはじめとするわが国の洋楽の振興を目的とした諸事業のほか、東京初のコンサート専用ホール「サントリーホール」の建設・運営などを行ってきました。

1999年11月3日に急逝した佐治の遺族から“音楽界のために役立ててほしい”として遺産の一部が寄付されたことから、財団で検討した結果、「佐治敬三賞」の創設にいたりました。

これまでの受賞公演

第1回（2001年度）

「篠崎史子 ハープの個展 VIII ～新たな領域を求めて～」

2001年10月19日東京文化会館小ホール

「Just Composed 2001 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ

～大野和士が描く新世紀の音楽絵巻」2001年8月31日

横浜みなとみらいホール

第2回（2002年度）

「アンサンブル・ノマド2002年度定期演奏会#1」

2002年9月17日 東京オペラシティ・リサイタルホール

第3回（2003年度）

「現代の音楽展2003 室内オーケストラの領域 III」

2003年3月17日 東京文化会館小ホール

第4回（2004年度）

「三井の晩鐘」

2004年10月24日 イシハラホール

第5回（2005年度）

「next mushroom promotion vol. 8 『細川俊夫～50年のランドスケープ』」

2005年10月15日 ムラマツリサイタルホール新大阪

第6回（2006年度）

「武生国際音楽祭2006」

2006年9月2日（土）～10日（日） 越前市文化センター他

第7回（2007年度）

「フランス現代音楽からの潮流～井上麻子×藤井快哉 DUO」

2007年11月17日（土）

兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター

第8回（2008年度）

「実験室 vol.2 『偽のアレッキーノ／カンパネッロ』」

2008年3月27日（木）・28日（金） ミレニアムホール

第9回（2009年度）

「クロノイ・プロトイ 第5回作品展～弦楽四重奏の可能性」

2009年12月9日（水） 東京オペラシティ・リサイタルホール

第10回（2010年度）

「井上郷子^{きとこ}ピアノリサイタル#19 モートン・フェルドマン作品集」

2010年2月28日 東京オペラシティ・リサイタルホール

「東京シンフォニエッタ第28回定期演奏会 湯浅譲二特集」

2010年12月10日 東京文化会館小ホール

第11回（2011年度）

「林千恵子メゾソプラノ・リサイタル『アペルギス&グロボカール』」

2011年7月27日（水） 門仲天井ホール

「児玉桃ピアノ・ファンタジーvol.1」

2011年9月17日（土） 京都府立府民ホール “アルティ”

2011年9月19日（月・祝） 東京文化会館 小ホール

第12回（2012年度）

「kuniko plays reich in Kyoto」

2012年3月18日（日） 京都芸術センター 講堂

「Sep.5 2012 Thanks to John Cage」

2012年9月5日（水） サントリーホール ブルーローズ

第14回（2014年度）「佐治敬三賞」応募について

2014年1～6月実施公演の応募受付は終了しました。

2014年7～12月実施公演の応募方法は以下のとおりです。

- ・対象公演 2014年（平成26年）7月1日から12月31日の間に国内で実施される音楽を主体とする公演。
- ・応募方法 所定の応募用紙にて応募いただきます。公演の記録映像、録音、印刷物などがある場合は資料として提出いただく場合があります。応募要項・用紙は、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵送またはFAXにてサントリー芸術財団までご請求下さい。また財団ホームページからもダウンロードできます。
- ・応募期間 2014年4月1日（火）から5月31日（土）
- ・お問合せ先 サントリー芸術財団音楽事業部
〒107-6022

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル22階
私書箱509号

電話（03）3582-1355

FAX（03）3582-1350

<http://suntory.jp/SMF/>

以 上